

IV-181 郊外駅周辺におけるP & Rに関する意識調査

豊田高専 正員 栗 本 謙
 豊田高専 正員 荻 野 弘
 豊田高専 正員 野 田 宏 治

1. はじめに

昭和40年代の中頃、モータリゼーションの本格化とともにパーク・アンド・ライド（P & R）は、都心部の交通混雑緩和のための一方法として通勤用自家用自動車交通の都心部への流入抑制の目的で華しくデビューした。各地で都心に向かう自家用自動車を郊外に駐車させるためのP & R用駐車場が整備され鉄道やバスに乗換えさせようとした。しかし、このもくろみは十分なる効果を上げることなく、経費がかかるわりに流入制御の効果のあがらないことが明らかになりいくらか下火になってきた。

都市内の交通混雑は、一向に減少することなく日常茶飯事となつている現在、今一度P & Rの原点にたち帰り再検討してみる必要がある。本研究は、名古屋都市圏郊外に位置する豊田市内の私鉄沿線3駅でP & R用駐車場に関する意識調査を実施したので、P & Rの実態を明らかにするとともに、P & Rの利用要因について分析を行なった。

2. 調査の概要

豊田市（人口約31万人）の西部で名古屋市域にもっとも近い所にある、名古屋鉄道豊田線沿線の梅坪・上豊田及び浄水駅を対象として、62年12月22日、駅に到着する大学生以上の乗客に対し、始発から12:00及び17:30~21:00まで調査員が直接調査票を配布した。回収は、12月22~24日の間改札口附近に回収箱を置き随時回収した（表-1）。

梅坪駅は、名鉄三河線と豊田線の分岐駅であり、名古屋市への利用者が多い。浄水駅は大型団地の開発により乗降客が急増したことで、駅周辺に駐車場が多い。上豊田駅は上記2駅の間位置するためそれぞれ選定した。これら駅での乗降客数の推移を図-1で示す。調査票は、個人属性、運転免許の有無、自宅から目的地までの利用交通手段・運賃及びその所要時間、P & R、キス・アンド・ライド（K & R）及びバス・アンド・ライド（B & R）についての選択理由・評価、使用駐車場の料金及び設置位置等51の設問で構成されている。

表-1 アンケート調査結果

	利用可能 駐車台数	アンケート調査		
		配布部数	回収部数	回収率(%)
梅坪駅	155	372	154	41.4
上豊田駅	161	121	66	55.4
浄水駅	382	455	179	39.1
合 計	698	948	399	42.7

3. P & Rの実態

調査3駅の利用状況を調査対象者全体の行動目的別にみると、通勤目的が各駅とも最も高く約80%、次いで通学目的が約10%と両者で90%を占めている。また、P & R利用者についてもほぼ同様な傾向がある。

調査対象者の利用交通手段は各駅で若干の差はあるが、全体で見るとP & Rが45.4%、K & Rが10%、B & Rが3.8%及びその他（徒歩、自転車、二輪車利用）が36.1%でP & RとK & R利用者が55%を超している（表-2）。

P & R利用者の内、駐車場利用回数は表-3の通り“ほとんど毎日”“週に数回”利用を合せて86%と高率である。また、P & Rに利用する自動車の名義が自分か家族で自分が優先的に使用できる人達が全体で92%を占めている。

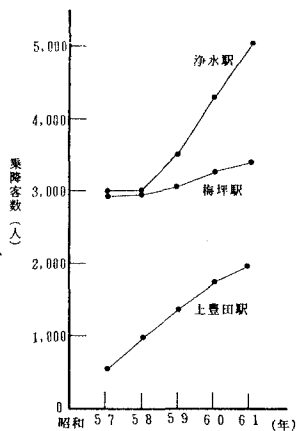


図-1 名鉄豊田線乗降客数の推移

駐車料金はP & R利用者の内約65%が月極駐車で、特に上豊田駅では78%と高率である。月極料金は梅坪駅で6,000 円が51.2%、4,000 円が27.9%であるのに対し上豊田・浄水駅では3,000 円が8～9割となっている。これらの駐車料金に対する評価を図-2に示す。

梅坪駅では“高い”が37.0%で最も高く、次いで“普通（妥当）”が23.3%と続いている。上豊田・浄水駅では“普通”が55.6%、50.6%と過半数を占め次いで“やや高い”が14.8%、24.7%と駐車料金と密接な関係が見られる。

駐車場の総合評価は図-3の通りである。“たいへん満足”“まあまあ満足”の和が梅坪駅がもっとも少なく36.9%であるのに対し浄水駅では、53.1%と高い評価がえられている。

調査対象者の目的地を表-4で示す。3駅の合計について見ると、P & R利用者の84%が名古屋市内に目的地を持つのに対し豊田市内はわずかに 2.2%である。

4. P & Rの利用要因

P & R利用者のうち駅までの移動手段として自動車を利用する理由は“最も早く行ける”が26.1%、“他に利用できる交通機関がない”“運行頻度が少”が同数で21.7%と続き、自動車に代る交通手段がないために自動車を利用しているようである。

自分が自動車の運転が出来ない場合の代替交通手段として最も多いのがK & Rで32.0% B & Rには23.8%が転換を希望している。

目的地まで自動車を
使用せずP & Rを利用
する理由は、各駅によ
り若干の差が見られ
るが平均値で“最も早
く目的地に着ける”が21.5%、次いで“時間通り目的地に着ける”が

19.3%“交通渋滞がいや”が13.8%で迅速・定時等の時間に関する理由で54.6%を占めている。

5. おわりに

今回の調査でP & R利用に大きな影響を与えたのは、発駅の駐車場選択の条件であった。今後P & Rの利用率向上には、鉄道及び発着駅での駐車場設置条件について調査する必要がある。

表 - 2 調査対象者の利用交通手段

	P & R	K & R	B & R	その他	不明記入なし	合計 (人)
梅坪駅	47.4	8.4	1.3	41.6	1.3	154
	7.3	1.3	2	6.4	2	
上豊田駅	40.9	12.1	0	43.9	3.0	66
	2.7	8	0	2.9	2	
浄水駅	45.2	10.6	7.3	28.5	8.3	179
	8.1	1.9	1.3	5.1	1.5	
合 計	45.4	10.0	3.8	36.1	4.8	399
	18.1	4.0	1.5	14.4	1.9	

上段 %
下段 人

表 - 3 P & R利用者の駐車場利用回数

	ほとんど毎日	週に数回	月に数回	ほとんど利用なし	不明記入なし	合計 (人)
梅坪駅	78.1	5.5	8.2	5.5	2.7	73
	5.7	4	6	4	2	
上豊田駅	92.6	3.7	3.7	0	0	27
	2.5	1	1	0	0	
浄水駅	77.8	7.4	9.9	3.7	1.2	81
	6.3	6	8	3	1	
合 計	80.1	6.1	8.3	3.9	1.7	181
	14.5	1.1	1.5	7	3	

上段 %
下段 人

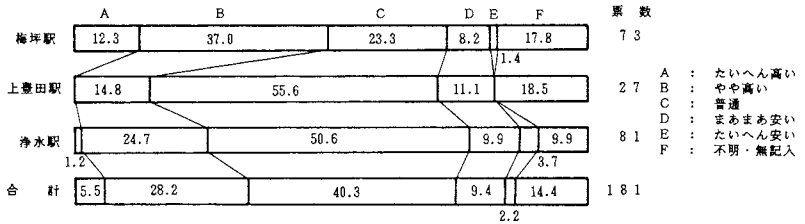


図 - 2 駐車料金の評価

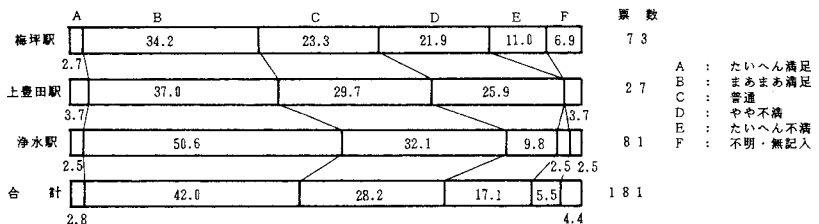


図 - 3 駐車場の総合評価

表 - 4 P & R利用者のOD表

		名古屋市												その他	無 記 入	利用 者数 (人)
		豊 田 市 内	中 区	中 村 区	南 区	千 種 区	天 白 区	西 区	北 区	東 区	港 区	熱 田 区	中 川 区			
梅坪駅	P & R利用者	0	57.5	11.0	6.8	2.7	0	1.4	0	2.7	0	2.7	0	11.0	4.1	73
	その他利用者	21.9	34.4	4.7	10.9	0	3.1	3.1	0	0	3.1	0	1.6	10.9	6.3	64
上豊田駅	P & R利用者	7.4	51.9	3.7	11.1	3.7	3.7	0	3.7	0	0	0	0	14.8	0	27
	その他利用者	17.2	37.9	3.5	6.9	3.5	3.5	0	3.5	0	0	0	0	17.2	6.9	29
浄水駅	P & R利用者	2.5	55.6	6.2	7.4	3.7	2.5	3.7	1.2	0	1.2	3.7	0	6.2	6.2	81
	その他利用者	29.4	23.5	9.8	5.9	5.9	3.9	2.8	2.0	3.9	2.0	2.0	0	3.9	5.9	51
合 計	P & R利用者	2.2	55.8	7.7	7.7	3.3	1.7	2.2	1.1	1.1	0.6	2.8	0	9.4	4.4	181
	その他利用者	23.6	31.3	6.3	8.3	2.8	3.5	2.1	1.4	1.4	2.1	0.7	0.7	9.7	6.3	144

単位 (%)、その他一歩、自転車、二輪車利用者